

令和3年5月1日
学校法人吉井学園
幼保連携型認定こども園
園長 脇黒丸 陽一

外部評価委員による学校評価指摘事項への取り組みについて

令和3年3月、外部評価委員4名に幼保連携型認定こども園錦ヶ丘の学校評価をお願いいたしました。各委員の評価の平均値を別紙の通りまとめました。この結果を受け、園内で話し合いを重ねたうえ、本園で今年度さらに重点的に取り組むことは以下のとおりです。

1. こども園像

こども園錦ヶ丘の教育方針である子ども主体の保育、ビオトープ、食育の取り組みなどは、非常に高い評価を得ておりますが、今後も体力増進・安全教育、体験活動など積極的に取り組んでいきます。

2. 教育課程の編成と実施

幼保連携型認定こども園保育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を考慮して総合的な保育に努めています。しかしながら職員間の個人差が目立つという指摘がありました。今年度は、毎月行う保育園との園内研修で外部講師を招聘し、個々の職員については、園内研修の土曜実施、キャリアアップ研修受講、長期休業中の自己研修実施など研修体制を整え対応してまいります。また、SDGsの推進に向け委員会を組織し、自然環境を大切にすることを養うためビオトープの活用など、園全体で取り組みを推進します。

3. 環境構成について

園舎の老朽化が進んでいます。毎月の安全点検に加え、建設会社OBの専門家を雇用し施設管理・維持及び安全管理に努め、ビオトープに関する専門知識を持った造園業者の専門家に園庭管理の一部を委託します。避難訓練等では桜島の大爆発を想定しての避難訓練、園長が不審者に扮し警察との迫真の演技による不審者対策、震度6の大地震を想定しての避難訓練など、毎月計画的に実施し振り返りを行い、より実際に近い訓練が行われるように工夫してまいります。また、地震等の災害に備え災害備蓄品を充実します。

4. 家庭・地域のとの連携<地域に開かれたこども園>

外部評価委員から、保護者や外部に向けた園の教育方針の可視化が最重要課題だと指摘を受けました。ICTシステムを導入した連絡帳を十分に活用し、子ども達の日常をそれぞれの保護者にお伝えできるようさらに努力するほか、送迎時などで保護者とのコミュニケーションを積極的に行い、保護者の声に耳を傾け連携を図っていきます。さらに、園全体の保育を伝えるため、毎月発行している「園だより」に加え、月2回「にしきっこだより」を新たに配信します。各クラスの保育をサポートする副主任が、こども

の姿や保育のねらいをブログと連携させ保護者にお伝えできるよう新たに取り組みます。

5. 資質の向上と教育活動の充実

これまでどおり、姉妹法人の錦ヶ丘保育園や児童発達支援事業所「まふいん」、アフタースクール錦ヶ丘と交流を図り連携を深め教育活動の充実を図ります。さらに、職員配置では3施設相互に人事交流を行い、それぞれの事業所についての理解を深めて保育士の力量を高めてまいります。また、特に配慮が必要な子どもについては、定期的に姉妹療育施設と各学年での連絡会を開催し、専門家の意見を聞きながら園全体で情報を共有するとともに、新たに配置した養護教諭や社会福祉士などの専門的な知見をも活かし、特に配慮が必要な子どもの理解や関わりについて研修を充実させます。

6. 園運営・園務分掌とその機能化

担任とサポート教諭の連携について、個人差がみられることの指摘については、新たなポストとして総合的に保育と円滑な園務運営を図るため、副主任のポストを設け、各クラスに保育に入り、学級間の取り組みに差異がないように、偏りのないチームワークによる保育の推進に努めます。昨年度より導入したICTアプリを活用した園内連絡や園日誌・連絡帳を有効に使い、管理職がチェックして保護者との情報共有に努めます。さらに、リーダー会議、職員ミーティング、職員室共有機の活用などを通して情報確認、共有、周知を図ります。職員全体がひとつのチームという意識を持つため、管理職やパート職員等の区別なく、園務全般に一体的に取り組み、共に保育に当たる雰囲気作りを行います。

令和2年度学校外部評価（外部評議員）

★評価 4 優 3 普通 2 やや不十分 1 不十分

1 こども園像(こんなこども園に)		評価	コメント
①	子どもの主体性を重視する保育の実践に努めているか	3.5	話し合いがバランスよく取り入れられている
②	ビオトープを活用し生物を大切に扱い生命尊重の精神を育てているか	4	虫メガネなどを使った観察活動園の特色・財産を今後も大切にしてください
③	食育の重視に努めているか	4	食材へのこだわりが素晴らしい
④	情操教育の推進に努めているか	3.5	
⑤	体力増進と安全教育に努めているか	3.5	
⑥	体験学習の充実に努めているか	3.75	
2 教育課程の編成と実施について			
①	教育課程は本園のこども像に合致し、発達段階、時期、内容項目等が適切であるか	3.5	
②	発達段階、個に応じた支援計画を策定して特別支援教育の充実に取り組んでいるか	3.25	研修を通じ学びを深めていた外部への発信を強化して見える化を
③	幼保連携型認定こども園教育保育要領の五つの領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)に示すねらいの達成に向け、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を考慮して総合的な保育に努めているか	3	個人差が目立つため要改善
④	食育の充実→当該年度教育課程に具体的に位置付け実践しているか	3.75	
⑤	ビオトープ活用促進→当該年度教育課程に具体的に位置付け実践しているか	3.5	収穫物からクッキングへ発展
⑥	チームティーチングによる保育活動を教育課程に位置付け実践しているか	3.5	
3 環境構成について			
①	園舎、園庭の施設・設備の適切な点検項目設定及び安全点検を計画的に行っているか	3.25	毎日行われている
②	園庭の施設設備は適切に維持管理されているか(木製遊具、樹木、ビオトープ)	3.5	修繕が良くなされている
③	外部不審者対策は適切であるか(迅速・確実な周知態勢、未然防止対策等)	3.75	充実した訓練活動が行われている
④	遊具、用具、教材等を活用しやすいように整理保管しているか	3.5	たまに不十分
⑤	園舎、保育室、給食室等は諸基準要件を満たし、適切に維持管理されているか	3.75	
4 家庭・地域との連携<地域に開かれた幼稚園>			
①	子育て支援事業(未就園児、めだかKids等)の適切な運営がなされているか	3.5	
②	外部講師招聘、地域の達人、施設の訪問、JAとの連携(食育)が進んでいるか	3.5	
③	園の教育方針が保護者に浸透し、保育に関する保護者との価値観の共有が図られているか	2.5	努力が求められる
④	多様化する保護者ニーズの対応について職員間で共通認識し、適切な対応が図られているか	3	努力が求められる、職員間での統一が課題
⑤	広報活動(ホームページ、ブログ、園だより、クラスだより、掲示板等)の改善・充実を図っているか	3.5	動画配信が巧みである、去年度よりブログ充実
⑥	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者に適切な情報を提供しているか	3.25	
⑦	基本的な接遇マナーのもと保護者、来園者への対応や電話対応などを行っているか	3.5	
5 資質の向上と教育活動の充実			
①	自主研修テーマを設定して具体的な取り組みを進め、自己研鑽に努めているか	3.5	自主的に学ぶ姿勢がある
②	リトミック、体幹能力の向上等について積極的に取り組むとともに、主体的な研修を行っているか	3.5	
③	隣接する保育園、児童クラブ(アフタースクール)との交流促進を進め、視野を広めているか	3.5	交流は盛んにおこなわれている
④	チームティーチング等により、保育の質を高め、互いに学び合う機会を設定しているか	3	クラスにより偏りがある
⑤	配慮が必要な子どもの理解やかかわり方などについて研修を進めているか	3	具体的な関りの実践の強化求む
⑥	各種研究会、研修会、講習会での内容を還元しているか	3	
⑦	こども園園訓や理事長の理念を踏まえ保育に当たり、一人一人の園児を大切に日々教育活動に邁進しているか	3.5	
6 園運営・園務分掌とその機能化			
①	幼保連携型認定こども園について、一層理解を深めるように努めているか⇒ 認定区分などの特性を理解し、保育時間、保育料、保育形態等の問い合わせに適切に対応できるか	3.5	
②	こども園としてその運営管理態勢は整っているか⇒勤務シフトの適切な管理の下で、適正な業務を行うか(早出、土曜勤務、バス添乗シフト等)	3.5	改善点あり
③	学級経営・分担園務の創意・工夫、PDCAの実効化など<一事一創意>に努めたか⇒ PDCAの実効化 → 計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Act)	3.25	
④	預かり保育、幼保連携型の一時預かり事業の適切な実施に努めたか⇒ 計画保育終了後の保育形態を理解し、勤務要件を満たす保育活動の実践	3.5	
⑤	安心・安全、効率的な通園バスの運営が展開されているか⇒ 適切なバス路線の設定、バス運行管理システムの基本運用と応用、添乗シフトの改善	3.75	
⑥	担任とサポート教諭等との連携は十分であったか⇒ 計画的な情報交換の場を設定、共通認識の徹底	2.75	クラスや個人により差が見られる努力項目
⑦	適切・効率的な事務処理、整然とした事務環境の維持に努めているか ⇒ 提出文書等の適切な処理、資料、文書の類別管理、保存期間を超えた文書やデジタルデータの破棄	3.5	
⑧	個人情報の適切な管理に努めたか⇒ 事務処理用パソコンの保管、セキュリティ、諸帳簿、HPブログ、職務上の情報	3.5	
⑨	常に職員全員がひとつのチームであることを意識して日々の職務を遂行しているか	2.5	チームとしてどう成長するかが課題です